

設置マニュアル

RadiForce® GS521-ST

モノクロ液晶ステレオモニター

重要

ご使用前には必ず本設置マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。



絵表示について

本書では以下の絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。	
 注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。	
	注意（警告を含む）を促すものです。たとえば  は「感電注意」を示しています。
	禁止の行為を示すものです。たとえば  は「分解禁止」を示しています。
	「アース線を接続すること」を示しています。
	行為を強制したり指示するものです。

-
1. 本書の著作権は EIZO 株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部を EIZO 株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
 2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
 3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
 4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 5. 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。
-

EIZO、EIZO ロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiForce、RadiCS、RadiNET、Raptor、ScreenManager は EIZO 株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。
その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

⚠ 使用上の注意

ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

⚠ 警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店または EIZO サポートに連絡する
そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。



裏ぶたを開けない、製品を改造しない

本製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。



修理は販売店または EIZO サポートに依頼する

お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。



異物を入れない、液体を置かない

本製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。

万一、本製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店または EIZO サポートにご連絡ください。



製品の質量（約 24.5kg）に耐えられる丈夫で安定した場所に置く

- 不安定な場所に置くと、落下することがあり、けがの原因となります。万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店または EIZO サポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。
- 地震対策用のワイヤーは、上側モニターの取っ手にかけて本体を固定してください。（地震対策用のワイヤーは別途ご購入ください。）



次のような場所で使用しない

火災や感電、故障の原因となります。

- 屋外。車両・船舶などへの搭載。
- 湿気やほこりの多い場所。
- 水滴のかかる場所。浴室、水場など。
- 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く。
- 直射日光が直接製品に当たる場所。
- 可燃性ガスのある環境。



プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する

包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。

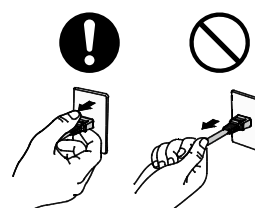
付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ

コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。

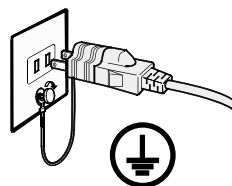


警告

電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。

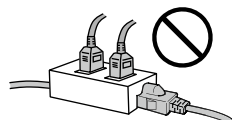
二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。



次のような誤った電源接続をしない

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

- ・取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続。
- ・タコ足配線。



電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。



電気的な安全確保のため、接続コードの取り付け・取り外しは、患者がいない場所でおこなう



雷が鳴り出したら、電源プラグやコードには触れない

感電の原因となります。



液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない

もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。

万一、漏れ出た液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。



ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本製品を捨てない

蛍光管バックライトには水銀が含まれているため（LED バックライトを使用した製品は水銀を含有していません）、廃棄は地方自治体の規則に従ってください。

水銀は、体の震え、記憶喪失、頭痛など、神経系の障害を引き起こす恐れがあります。



注意

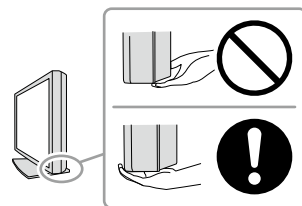
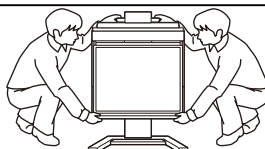
運搬のときは、接続コードやオプション品を外す

コードを引っ掛けたり、移動中にオプション品が外れたりして、けがの原因となります。



本製品を移動させるときは、正しい方法で移動する

- ・本製品を移動するときは、ハーフミラーを取り外し、右図のようにモニターの下部をしっかりと持ち、液晶パネル面には触れないようにする。
- ・大型モニターは重いため、開梱や持ち運びは必ず2人以上でおこなう。落としたりするとけがや故障の原因となります。



強い衝撃を与えない

本製品に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

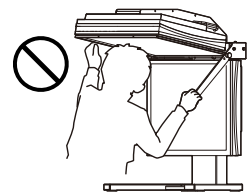


⚠ 注意

ハーフミラーを確実に固定し、落下防止用キャップを取り付ける
ハーフミラーが落下することがあり、けがの原因となります。



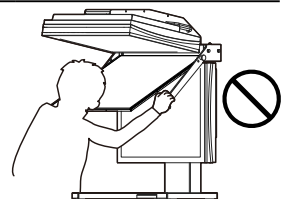
ハーフミラーを上げる場合は確実にロックし、上側のモニターの下に頭を入れない
2D 画像を見る場合には、ハーフミラーを上げて確実にロックしてください。万一ハーフミラーが落下した場合、けがの原因となります。



万一ハーフミラーにひび割れ等の異常があった場合は、使用を中止し販売店または EIZO サポートに連絡する
けがの原因となります。



ハーフミラーを上げたり、元の位置にもどしたりする場合は、ハーフミラーを両手で持ち、ゆっくりとおこなう
・ 左右のアームに指をはさまないようにする。
・ けがの原因となります。



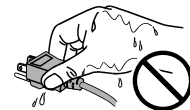
通風孔をふさがない

- ・ 通風孔の上や周囲にものを置かない。
- ・ 風通しの悪い、狭いところに置かない。
- ・ 横倒しや逆さにして使わない。



通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。

濡れた手で電源プラグに触れない
感電の原因となります。



電源プラグの周囲にものを置かない

火災や感電防止のため、異常が起きた時すぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。



電源プラグ周辺は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。



クリーニングの際は電源プラグを抜く

プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となります。



長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグも抜く



モニターについて

この製品は、MRI や CT、デジタルマンモグラフィなどの医用画像表示用途に適しています。

この製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約 30 分かかります。モニターの調整は電源を入れたあと、または省電力モードから復帰して 30 分以上経過するまでお待ちください。

画面の品質が安定するのに、数分かかります。モニターの電源を入れたあと、または省電力モードから復帰して数分以上経過してから読影をおこなってください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げて使用されることをおすすめします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします。(次ページ「クリーニングのしかた」参照)

画面上に欠点、発光している少数のドットが見られることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、製品本体の欠陥ではありません。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店または EIZO サポートにお問い合わせください。

パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。(液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。)

パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります(結露)。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングのしかた

注意点

- ・アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネット、パネル面、ハーフミラー、偏光めがねの光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- ・シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナーは、キャビネット、パネル面、ハーフミラー、偏光めがねをいためるため絶対に使用しないでください。

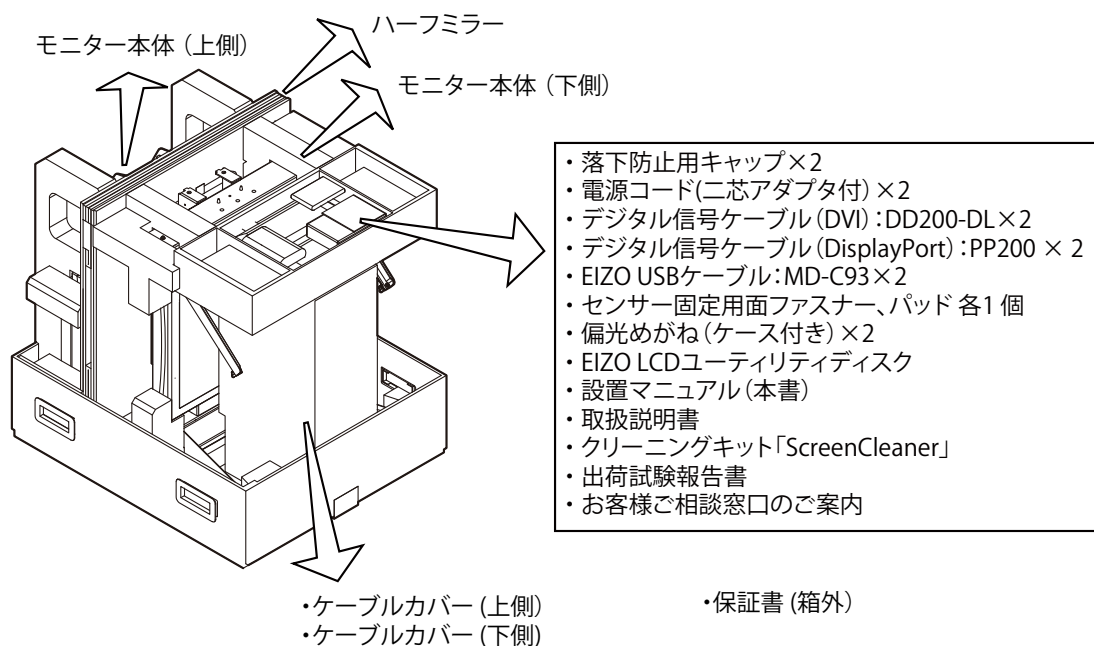
キャビネット、パネル面、ハーフミラー、偏光めがねの汚れは、付属の「ScreenCleaner」を使用してやさしくふき取ってください。

モニターを快適にご使用いただくために

- ・画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- ・長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1 時間に約 10 分の休憩を取ってください。
- ・3D 画像を表示中に疲労感、不快感などの異常を感じた場合は、使用を中止してください。

梱包品の確認

以下のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店または EIZO サポートにご連絡ください。



注意点

- ・ ハーフミラーは、破損する恐れがありますので静かに取り出してください。

参考

- ・ 梱包箱や梱包材は、本機の移動や輸送用に保管していただくことをおすすめします。

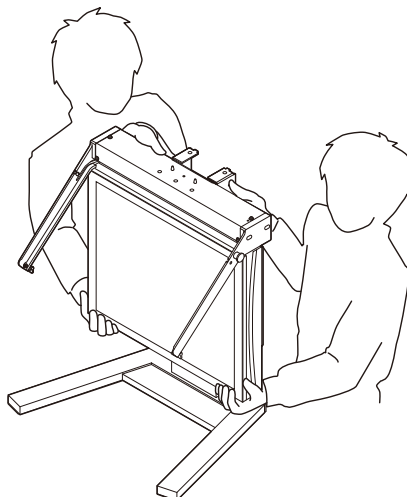
設置方法

注意点

- ・ 設置作業は、必ず 2 人以上でおこなってください。

1 下側のモニターを安定した場所に置きます。

下図のように、2 人でモニターを持ち、安定した場所に置きます。

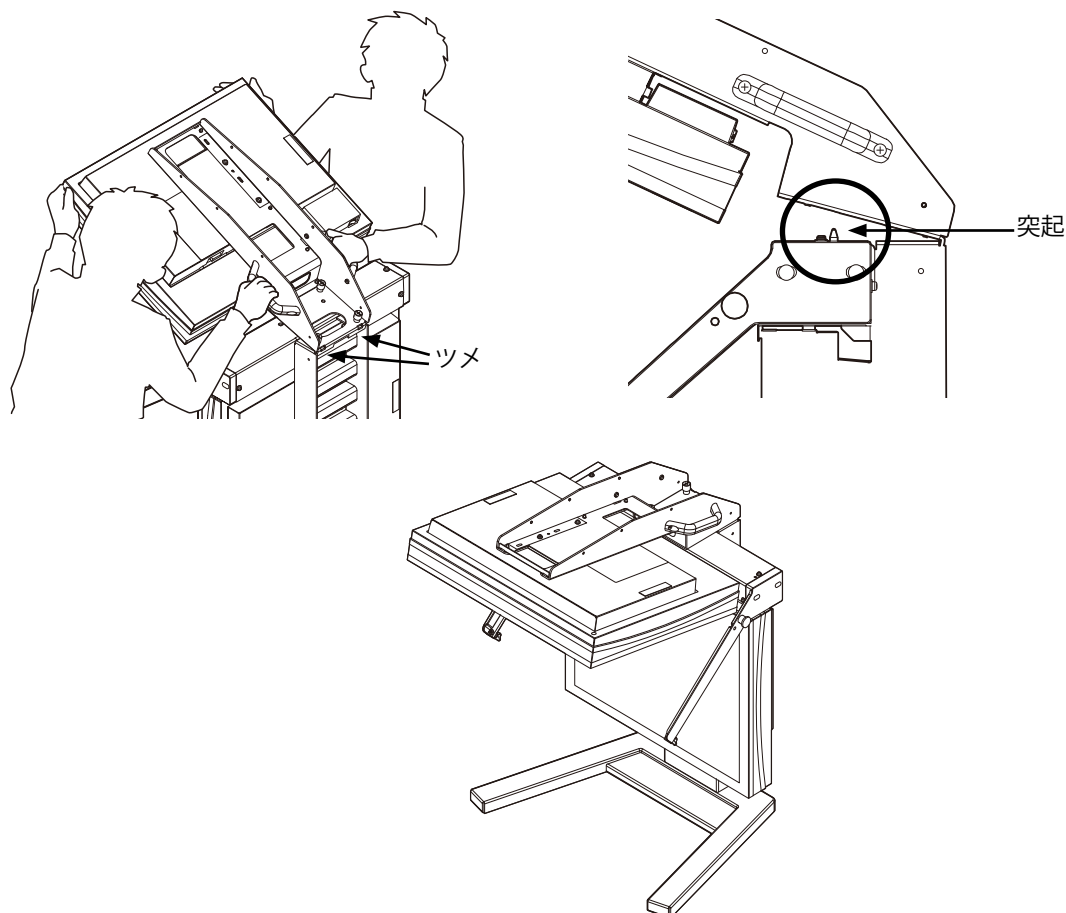


2 上側のモニターを下側のモニターに取り付けます。

上側のモニターを下側のモニターのツメにはめ、突起にはめ込みます。

注意点

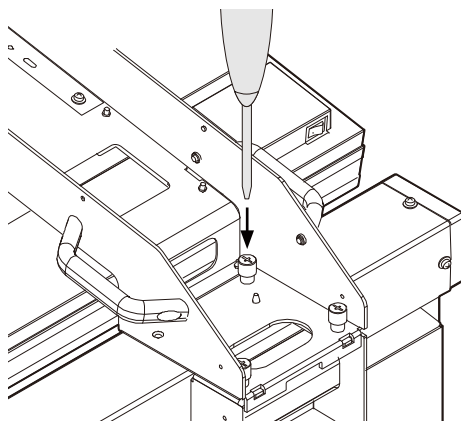
- 上側のモニターと下側のモニターの接合部に異物がないか確認してください。



3 ドライバーを使用して、上側のモニターのネジ（4箇所）で上下のモニターを固定します。 (別途、ドライバーを準備してください。)

注意点

- 画像が2重に見える恐れがあるため、ネジはしっかりと締めてください。



4 上下のモニターにケーブル類を接続します。

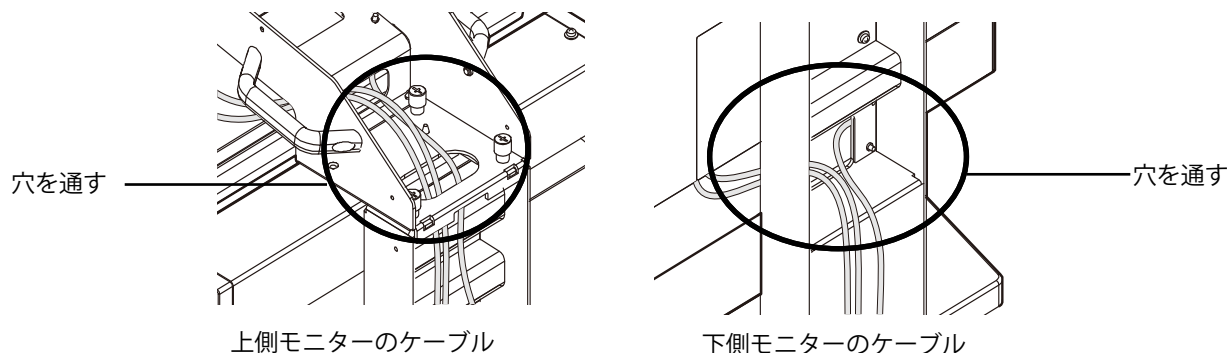
上側のモニターの信号ケーブルは、コンピュータの右目用画像の入力信号コネクタに、下側のモニターの信号ケーブルは、コンピュータの左目用画像の入力信号コネクタに接続します。

電源コードを上下のモニターの電源コネクタと電源コンセントに接続します。

USB ケーブルを上下のモニターの USB ポート (アップストリーム[㊤]) とコンピュータの USB ポート (ダウンストリーム[㊦]) に接続します。

注意点

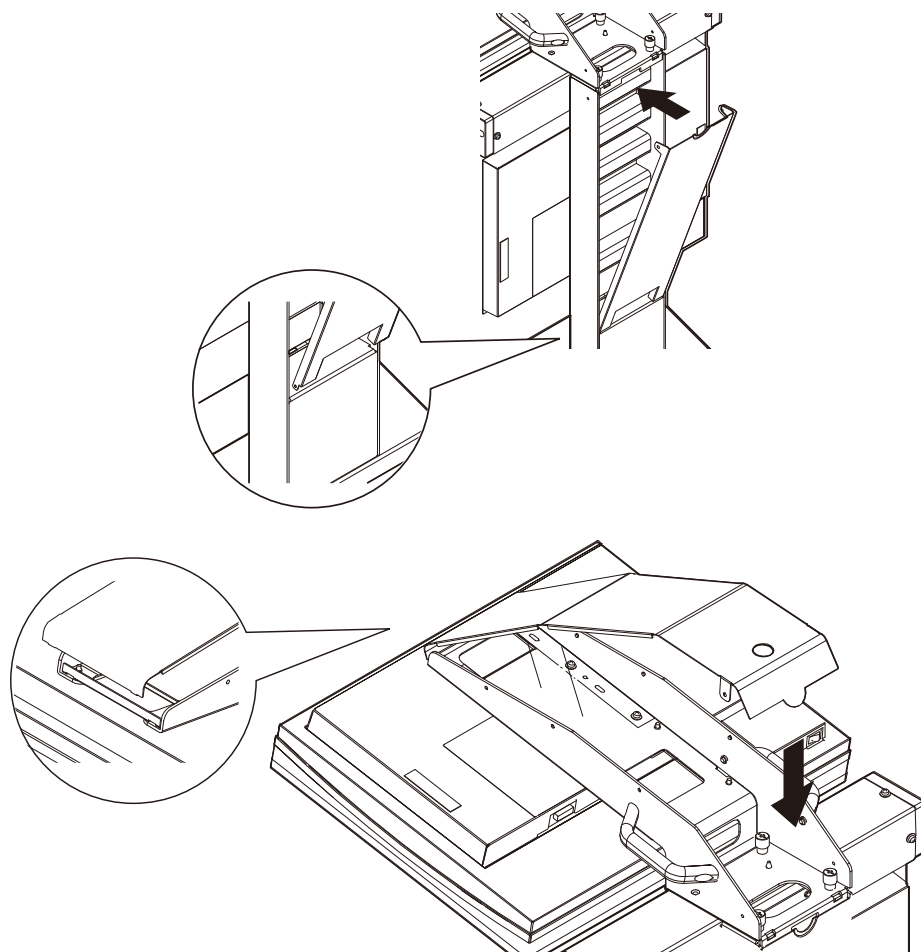
- 下図のように、ケーブルは穴から下に通して接続してください。



5 上下のモニターにケーブルカバーを取り付けます。

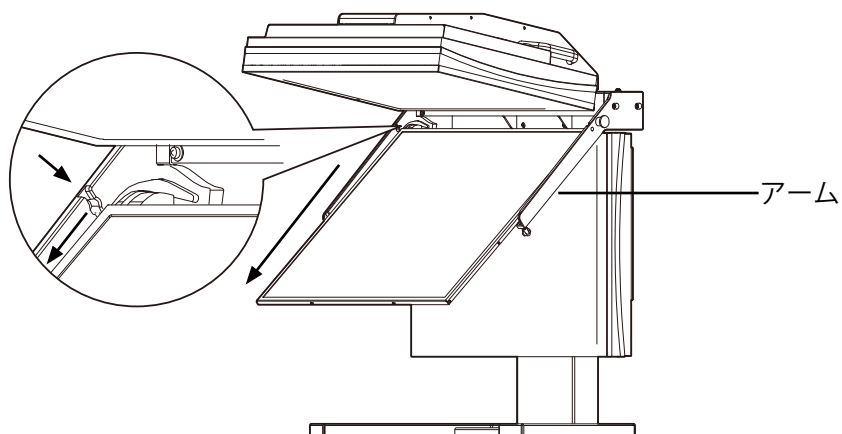
下側のケーブルカバーを溝にはめて取り付けます。

次に上側のケーブルカバーを前から溝にはめ、下側のカバーにかぶせます。



6 ハーフミラーを取り付けます。

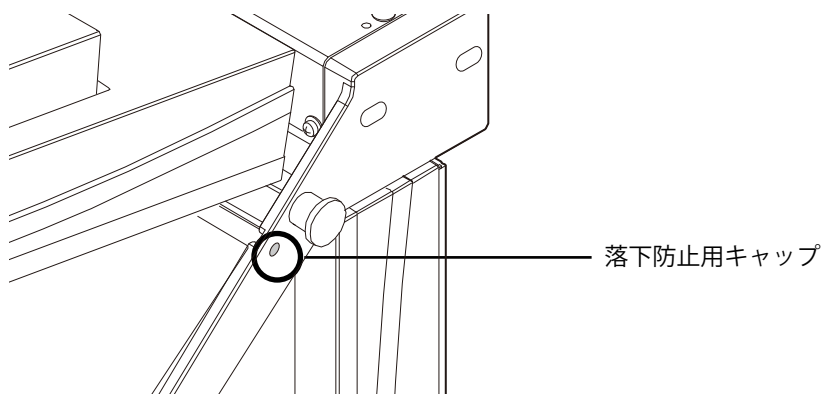
シール（右上貼付）が裏面になるように、左右のアームの内側の溝に上からハーフミラーのピンを差し込み、手前側にひきます。



7 落下防止用キャップを左右にはめます。

注意点

・ハーフミラーが落下する恐れがあるため、落下防止用キャップはしっかりとはめてください。

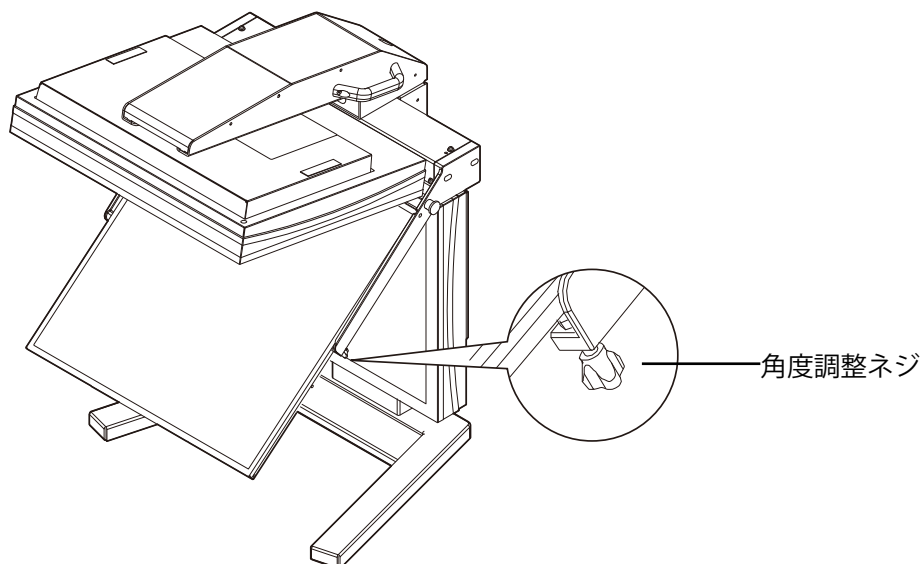


8 これで設置完了です。

注意点

- ハーフミラーの角度の調整が必要な場合は、角度調整ネジを締めたり緩めたりして調整してください。調整後はナットをしっかりと締めてください。

基本操作については、取扱説明書を参照してください。



キャリブレーション実行方法

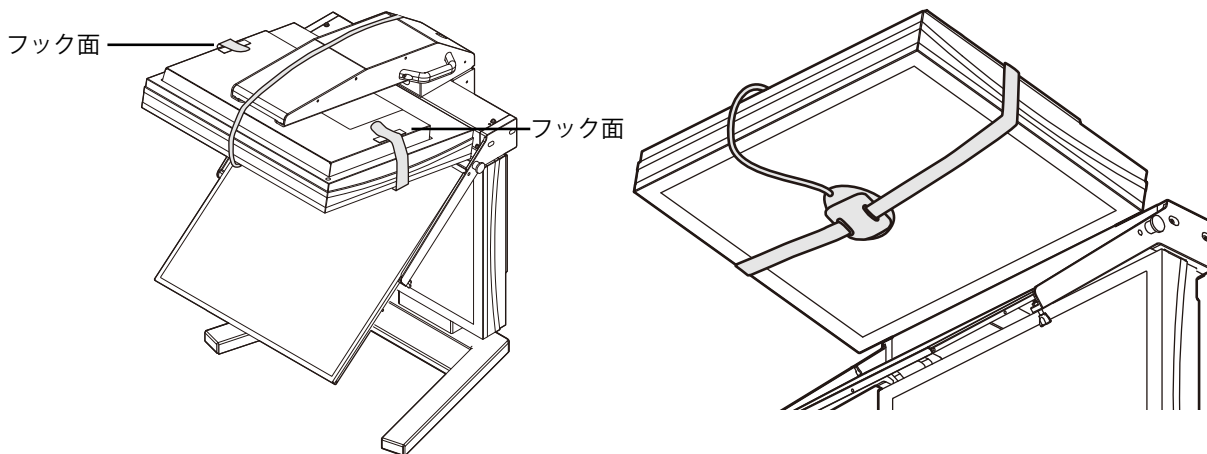
注意点

・キャリブレーションを実行する 30 分以上前に、モニターとコンピュータの電源を入れてください。

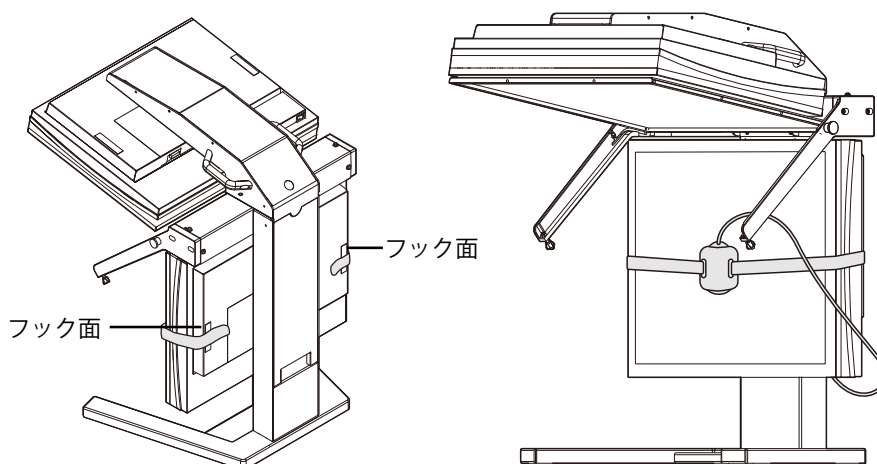
- 1 センサーをコンピュータまたはモニターの USB ダウンストリームポートに接続し、モニターパネル面に吊り下げます。
- 2 面ファスナーの一方を、フック面（左側）に貼り、パッドでセンサーをパネル面に密着するように押さえながら、もう一方のフック面（右側）に貼ります。

注意

- ・面ファスナーを強く締めすぎないでください。
- ・下側モニターのキャリブレーションを実行する場合は、取扱説明書を参照し、ハーフミラーを上にあげてください。



上側のモニターをキャリブレーションする場合



下側のモニターをキャリブレーションする場合

- 3 キャリブレーションを実行します。
- 4 キャリブレーション完了後、面ファスナーとセンサーを取り外します。



EIZO Corporation

153 Shimokashiwano, Hakusan, Ishikawa 924-8566 Japan
Phone: +81 76 277 6792 Fax: +81 76 277 6793

艺卓显像技术(苏州)有限公司

中国苏州市苏州工业园区展业路8号中新科技工业坊5B
Phone: +86 512 6252 0100 Fax: +86 512 6252 1508

EIZO株式会社

〒924-8566 石川県白山市下柏野町 153 番地

EC REP

EIZO GmbH

Siemensallee 84, 76187 Karlsruhe, Germany
Phone: +49 721 20321 0 Fax: +49 721 20321 471

<http://www.eizo.com>
<http://www.eizo.co.jp>

Copyright © 2010-2013 EIZO Corporation All rights reserved.

4th Edition-September, 2013 Printed in Japan.

00N0L611D1
(U.M-GS521-ST-SETUP)